

平成28年8月町政報告会 会議録

参加人数 南木曾町内 107人

南木曾町外 13人

合計120人

ご意見・ご要望

- ・坂下病院の外来がなくなるのにあわせて診療所ができると聞いたがその情報はるか。
- ・坂下病院の診療所化するが病院と診療所との違いを教えてください。
- ・坂下病院の救急受け入れの廃止を聞いて驚いた。受け入れをしなくなると中津川市民 HP に搬送されるのか。
- ・先日ドクターヘリで飯田の病院に搬送されたが、それは外科がなくなったから飯田に搬送されたのか。
- ・2回ほど救急車を利用した。坂下病院ならば車のある人は問題ないが、ない人は帰りのタクシー代が3000円ほど。今後中津川市民病院になったら、帰りのタクシー代は10,000円を超すのではないか。
- ・5年先にシナリオ②になると、私たち患者はどこへいけばいいのか。病院がなくなっても患者は減らない。だから病院がなく南木曾には住めなくなる。まちづくりで人口を減らないようにするためには、私たちも協力するが、はっきり言って年老いた者はこのまちには住めない。国の対策もこのようなことになっているがそうではないのか。
- ・中津川市民病院の医師のほとんどは名古屋大学出身。だから愛知医科大学や徳洲会などの私立病院の傘下に入ることはできないか。公立病院としてあり続ける必要があるのか。病院継続のために、私立病院の傘下に入ることは考えられないのか。
- ・なぜいま病院改革が必要なのか。社会保障の急増。医療制度の改革。これは以前から見えていた。社会保障の急増も2025年問題で取り上げられているように、団塊世代の医療費として50兆円、国の予算の半分が使われることは以前からわかっていた。私の意見としてはなぜ急にこのようなことになったのか、坂下病院独自の医師不足、赤字経営が問題にあるが、国と自治体としてカバーできることは十分あると思うので、なぜ坂下病院は病床を減らし、内科のみの診療をしようとしているのかを詳しく教えてください。
- ・このような資料を見せられても、私たちはどうしたらいいかわからない。どうしたら現状解決できるのかを言われても、何もいいようがない。坂下病院の機能を封じようとしているのかいいようがない。
- ・資料を見ている坂下病院は完全にダメで、病気になったら死ぬ、高齢者は生きていなくていいとして私は受け止める。シナリオ2についても決定をしたというような書かれ方をしている。
- ・これだけの資料を見せられても、どうしても坂下病院を現状のまま残してほしい。
- ・私たちはこれからどのような活動や運動をしていけばいいのか、今後の取り組みについて町と議会はどのように考えているのかを教えてください。県や国を使って県境という南木曾特有の問題について知ってもらった上で医療改革をお願いするのはどうか。

・先日ある子どもから手紙をいただきまして、その内容は「坂下病院を絶対に無くさないください。この坂下病院をなくそうとしている人にこの手紙を必ず渡してください。」とありました。同じような手紙を他にもいただきました。

・坂下病院があることによって地域のみなさんの生活がなりたっている。もしもの時に駆け込める場所がなければ、安心して住むことができない。しかも坂下病院に若い方も就職していて、1日に千人ほどが利用している。もし診療所化したら、いまのスタッフのほとんどがやめなければならない。そのようにすると雇用の場がなくなってしまい地域がすたれていく。そのことを中津川市は考えていない。病院の経営状況と医師不足の数字でしかとらえていない。それぞれの地域に課題があって地域づくりの核になっているのが、坂下地区はこの病院である。だからこそ住民は安心して暮らしていけるはず。

・診療所になったら、医師が減ってしまう。大学は診療所に医師を派遣したりはしない。そのことを理解していない。魅力ある病院づくりをしたほうが、医師確保ができる。住民が声をあげ、市に魅力ある病院を作ってもらうことを要望していただきたい。

・旧坂下町長は坂下独自の病院を設立したいとのこと。当時、近隣の県境地区、南木曾町や大桑村、坂下町の町村の理事者がもろ手を挙げて病院の新設を推薦するという経緯があった。坂下町長が応援を受け、坂下病院を建てた。それは坂下町の負担だけではなく近隣の町村が出合って設立しようとした。この病院のおかげでこの地域の医療がスムーズに進んできた。それが今までの歴史だと考える。

・意見を聞くことも大事だと思うが、そんな悠長な時間はないと考える。議員の皆さんも町長も近隣の住民と団結して坂下病院を残す運動を一刻も早く起こしてほしい。この地域の住民の力を借りて、住民大会などを開き、町合同の運動を起こしてほしい。そのぐらいの熱意をもってぜひやっていただきたい。それには向井町長が先頭に立ってがんばるべきだと考える。そしていまの病院を残す。リニアの駅を作る中津川市が病院のベッド数を減らすということは展望の見えない話である。住民の健康を守れないような自治体は、産業の振興もできないと考える。一刻も早い運動を関係者と協力して動いてほしい。

・独自で南木曾町の救急がどれだけ利用されていて、どれだけ坂下病院に搬送されているのかを調べました。3年間のデータ坂下に搬送された患者は215名、220名、225名です。中津川市民病院に搬送された患者は27名で多い年に33名でした。搬送の時間として南木曾を出発して中津川市民病院に搬送されるまでにかかる時間は35分、木曾病院に搬送されるのも同じく35分。いずれも診療時間もふくまれているわけではない。それを考慮すると坂下病院の必要性は高く、症状次第では中津川市民病院に搬送されるかもしれないが、中継の応急処置の面からしても必要であると考えます。よって財政や医師不足で坂下病院の診療所化は非常に困る。坂下病院には1日40名の方が利用している計算になっている。入院患者も月に50名ほどが入院している。団塊世代が増えていくなかで、医療費削減のために病院の廃止や診療所化は大変遺憾である。

・今回は中津川市の意見が出ただけで、町の方針がわからない。南木曾町の存続にかかわる問題である。町がどのような動きを見せるのかが見えないのが残念。

・8月6日現在で「中津川市の医療をよくする会（仮称）」が発足した。すぐに行動し、中津川市に直接訴えていきたい。坂下でも市民グループが発足し、住民と議会、町が協力していく必要がある。

・今日の出てきた意見を簡潔にまとめ、住民に伝えてほしい。

・「坂下病院を支える会」の発会式が行われる。坂下病院と同じような境遇にある東白川村国保診療所所長の勉強会が行われる。

・今回の進め方についても考えてほしい。今回の報告会の中津川市の言うものを伝えたもので、町の方針が発表されたわけではない。町がどのような進め方をするかを聞けると考えていたため非常に残念である。

・住民懇談会のようなものにすればいいのではなかったのか。町の広報の方法を検討したほうがいい。住民が無関心なのは町の責任である。もっと住民に参加してもらうための方法を考えてほしい。

・今回の坂下病院の問題はまったく知らなかった。このような現状になっているとは思わなかった。私たちも協力するので、町が知りえた情報を分かりやすく、住民が協力できるようなことを住民に伝えてほしい。

・今回の報告内容はほとんど決定しているのではないか。町政報告会で意見を聞くと言っているが、中津川市の方針はほぼ決まっているのではないか。議会も町も今後の方針を伝えるべきではないか。それをしなければ意味がない。坂下病院の問題は非常に重大なことであるため、具体的な運動等を住民に投げかけて進めてもらいたい。

・議会は区長会を開いて、署名などをするのか考えていないか。

・8月5日に中津川市長、区長、町づくり協議会などで市政懇談会を行った。このシナリオ2に関しては住民の意見が取り入れられていないため、坂下住民は反対することを伝えた。そして意見書を提出した。市長はシナリオ2で理解してほしいと言っている。しかしこの意見はまだ検討しているため、シナリオ2に住民からの意見を取り入れて作成していきたいとのこと。坂下地区はすべてのシナリオの見直しを要望している。様々な住民活動があるがまとまって行動していく必要がある。坂下病院の継続は合併時に協定で結ばれているため、今後は反対していく。今回の件は3月までに国に報告しなければならないため、非常に時間がない。今後も協力していきたい。

(町長)熱いご意見をありがとうございました。それぞれの立場でまずは出来ることからお願いしたい。町としては、住民からの要望を近い内に中津川市に伝える。ご指摘のあった広報の方法は町全体でも検討していきたい。時間もないため、周知を早めにしていく。最終的な町の方向も固めていく。町には様々な問題がありますが、住民の方と協力して行動に移していきたい。今後ともミニ懇談会などを開催し、お邪魔してご意見をいただきに行きますので、よろしくお願ひします。本日は長時間にわたりご苦勞様でした。